富士川橋付近の渋滞回避で通勤時間の大幅短縮！

～富士川スマートインターチェンジ～

道　路　名　　東名高速道路
所　在　地　　静岡県庵原郡富士川町

富士川町は、人口１万７千人※1で、町在住の就業者９千人の約３割にあたる３千人の方が、富士市、富士宮市、沼津市へ通勤しています。※2、更に、富士川町、富士市は、２００８年度の合併を目指し、昨年「富士市・富士川町合併協議会」が設立され、今後の更なる連携強化が期待されています。

※富士川町在住の約７５％の方が日常最も係わりの深い近隣のまちとして富士市・富士宮市と回答。※3

更に富士川町外に就業する方の７０％はマイカー通勤を行っており※2、非常に自動車交通への依存が高い町となっています。

※富士川町へ通勤されている方の８４％もマイカー通勤。※2

一方、富士川町と富士市をつなぐ主なルートの主要地方道富士川身延線では、富士川渡河部の富士川橋を先頭に平日の朝・夕に渋滞が顕著で、平均旅行速度は２９ｋｍ/ｈ※4となっており、渋滞損失時間は県下の一般道路で１０番目※5と非常に大きなものとなっています。

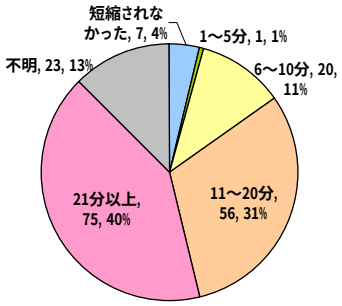
このため、通勤に著しい支障となっており、富士川町の約４割の方が町内の道路整備に不満を感じている状況です。※3

富士川スマートＩＣは、利用者の５８％が通勤・通学・業務目的での利用※6であり、富士川橋先頭の渋滞回避により移動時間の短縮効果が発揮されています。実際に、利用者の約８割の方に移動時間の短縮ができたと実感して頂いており、富士市方面との移動でスマートＩＣの利用により朝のピーク時間帯で最大１３分の移動時間の短縮が確認※7され、定時性が確保されました。

また、富士川橋を先頭とする渋滞も実験前と比較して、朝・夕で、最大３５０ｍの渋滞長が減少し※7、渋滞緩和効果が発揮されています。

※実験前渋滞長 900m（午前 9 時台）

現在もスマートＩＣの利用は増加を続けており、ますますの時間短縮、渋滞緩和効果が期待されます。



出典：平成１７年度スマートＩＣ利用者アンケート結果（国土交通省）

出典
※１：富士川町ホームページ（平成 19 年２月１日時点）
※２：平成１２年国勢調査結果
※３：平成１６年度住民アンケート結果概要（富士川町）
※４：平成１７年度道路交通センサス調査結果
※５：平成１１年度道路交通センサス調査結果を基に算出
※６：出典：平成１８年度スマートＩＣ利用者アンケート結果（国土交通省）
※７：出典：平成１８年度国土交通省調査結果